

胃集検通信

季刊 NO. 41

発行所
日本消化器集団検診学会
関東甲信越地方会
(〒111)東京都台東区浅草橋2-28-7
野田ビル
発行兼 関東甲信越地方会
編集者 編集委員会

(日本消化器集団検診学会関東甲信越地方会機関紙) 1部頒布定価1,000円(千共)

題字・黒川利雄先生

胃がん検診の効果は顕著 佐々木氏、計数的に実認

第三十五回日本消化器集団検診学会(五月二十三日)二十五日、国立教育出版センター佐々木壽英氏は「胃がん検診の総合的評価」-特に最終目的に対する評価-と題して次のように語った。「胃がんの罹患率は今後とも増加すると予測される。胃がん検診はがん対策の柱としての重要性に変わりはない」と。これは、その概要である。

はじめに

新潟県における胃がん検診の総合的評価について述べる。検診の評価指標には、検診と精密検査の基本的指標の他に、追跡調査指標と疫学的評価指標がある。検診の評価で特に重要なのは、検診の最終目的である胃がん死亡率減少に対する検診の貢献度、即ち疫学的評価である。

基本的指標による評価

新潟県における胃がん検診と精密検査の成績を示し、基本的指標が良好な成績であることを評価した。

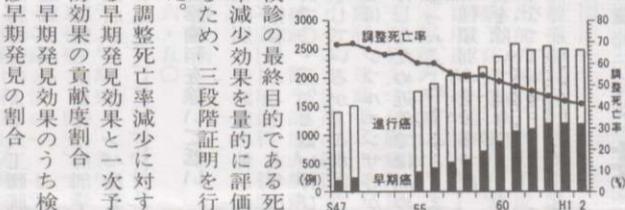
追跡調査による評価

追跡指標として、県成人病予防協会が実施している検診発見胃がんの追跡調査(九九%以上の精度)から、発見胃がんの五年生存率が八六・三%と良好で

疫学的評価

胃がん年齢調整死亡率は昭和四八年から直線的に減少を始め、平成五年には人口一〇万対三五・九まで減少した。一方、胃がん手術例数は増加している。この手術例の増加は早期がんの増加によるもので、手術症例に占める早期がんの割合は昭和五五年の一九・五%から平成二年の四八%まで増加した。

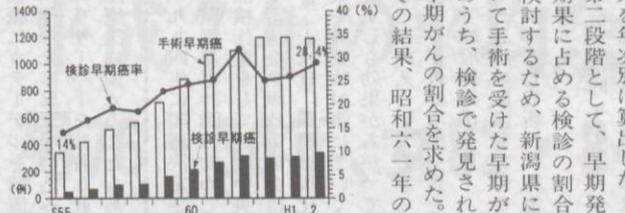
胃癌手術例数と調整死亡率(新潟県)



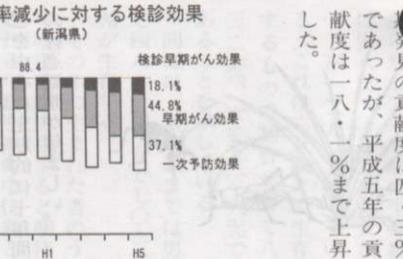
3、胃がん検診が死亡率減少に果たした貢献度(疫学的評価)

最初に、早期がんの死亡率減少に対する貢献度を数量的に算出するため、早期がんも死亡率と同一の尺度として年齢調整早期率を算出した。その結果、人口一〇万対の調整早期胃がん率は昭和四七年の六・二から平成二年の三七・八まで上昇が認められた。これにより、早期がんの死亡率減少効果を年次別に算出した。

手術早期癌に占める検診早期癌の割合(新潟県)



死亡率減少に対する検診早期発見の貢献度は四・三%であったが、平成五年の貢献度は一八・一%まで上昇した。



調整死亡率減少に対する検診効果(新潟県)

新潟県における胃がん検診の死亡率減少効果を、受診率に見合った効果として、数値をもつて証明した。

おわりに

胃がんの罹患率は今後とも増加すると将来予測がなされている。今後も胃がん検診は癌対策の柱としての重要性に変わりはない。検診の効果をもっと上げるために、死亡率をより減少させるためには、検診受診率向上策が最も重要になってくる。

視点

セントラルドグマ

代表世話人代行
癌研究会附属病院内科部長 丸山雅一

第五二回の関東甲信越地方会は、十月十九日に開催されます。この学会の売り物は、時の人、近藤誠氏と私の特別討論「胃がん検診の功罪」ということになっています。始めからこんなことを書く、検診の成果をまとめて発表される方達に失礼にあたることは十分に承知しています。私はこの一戦にかけるなど気負いなどありません。むしろ不安と憂鬱がないまぜになった複雑な心境で、準備をしています。不安というのには、近藤氏との討論がどのように展開するかということでありません。近藤氏が約束通りに学会場

に姿を現わしてくれるだろうかという事です。一昨年、私がこの学会の会長を努めたときにも実は近藤氏との討論の場を設けようとしたのですが、結局は断られた経緯があることも不安に拍車をかけています。憂鬱の原因はひとつは、こんな大事な問題にマスコミ主導に任せて無関心を装ってきた我々のふがいなさにあります。

さて、本論ですが、私は近藤氏ほどに勉強家ではありません。だからと言って、この種の討論は、自分の経験や感性だけでできるものではないと断言。そこで、この夏は、近藤氏の著

作を批判的な視点で読むことと並行して、これまでにそうだと思っていたが、についての基礎的な知識を確認する作業をしてみました。耳慣れない言葉だと感じられる読者が多いとおもいますが、癌転移の生物学には、五つのセントラルドグマといわれるものがあり、これらは、癌転移を分子レベルで研究する上で基礎になっていきます(入村達郎、実験医学七巻、五二五ページ)。ここでいうドグマとは、定説としても解釈すればよいでしょう。

セントラルドグマとは、①癌細胞には転移性の高いものと低いものがある。②悪性腫瘍は転移性に関し不均一な細胞集団からなる③転移性の高い細胞はそのことに関係のある細胞形質をいくつも有している。④それらは細胞間相互作用に影響する細胞形質である。⑤それらの細胞形質は癌の進行に伴って発現されるようになるが、環境因子もその発現に強く影響する、というものです。

これらセントラルドグマは、動物実験モデルから導かれたものですから、すべてヒトの癌に適用できるとは限りません。しかし、⑤については、なるほどと感ずるところがあります。素直に解釈すれば、転移に関係している細胞形質は、癌の進行に伴って発現し、環境因子によって強い影響を受けるということです。

言い方を換えれば、癌は、一般的には、それが発生した場合、すなわち宿主の影響を強く受けながら発育進んでいくものであり、癌が宿主とは無関係に独立した生き物として存在するものではないということになるでしょう。

以上をまとめると、宿主、すなわち、ヒトと癌との相対的關係というものを大きな前提として癌の転移を研究する必要があります。そして、このような考え方は、最先端の分子論的研究にとどまらず、我々の癌の検診と臨床現場でも絶えず持ち続けなければならぬ方法論だと私は考えています。

温暖化対策急げ 地球懇委が基本方針

環境庁長官に日本の温暖化対策を助言する「地球規模の環境問題に関する懇談会(地球懇)」の特別委員(森島昭夫委員長)は、

六月十七日に開いた会合で、この秋にまとめる報告書の基本方針をまとめた。「温暖化の影響については科学的知識が必ずしも十分でなく、将来の危険を避けるため予防行動をとるべきだ」と、「議論だけでなく、すぐ行動」をとるよう強く促している。

地球温暖化問題に関する特別委員会は、有識者や産業界、民間団体のメンバーで構成。今年初めから、環境団体や経団連など約三十団体から意見を聴いたり、約三千人にアンケートしたりして議論を進めてきた。(六月十八日、朝日から)

透視台

アメリカのク
リントン大統領
は、八月二十三
日「タバコを中
毒性のあるドラ
ッグ(薬物)に指定、食品
医薬品局(FDA)の管理
下に置いて、未成年者に対
するタバコの販売や広告を
厳しく規制する画期的な大
統領命令を出した。

アメリカの全がん死の中で、肺がんの占める割合が一番多い。さらに一日に三千人も若者がタバコを吸い始め、うち千人がタバコを吸わなかった人よりも早死する、というデータには、もう黙ってはいられなかったのではない。規制は徹底している。そのいくつかを拾ってみると、①タバコを買う際の身分証明書提示②未成年者が出入りする場所からの自動販売機の撤去③広告看板は学校、運動場近くから撤去。他の場所でも写真なしで、白黒の文字だけに制限④未成年の読者が多い雑誌での宣伝は、白黒の文字に制限⑤Tシャツや運動バッグなどへのブランド名の広告禁止⑥テニスやカーレースなどのスポーツ大会で、メーカーがスポンサーとしてブランド名を出すことを禁止⑦未成年者に喫煙の危険を教育指導するための資金供出を、メーカーに求める、などである。実に徹底したやり方だ。早くもメーカーからは「憲法違反」の強い反発も出ているという。

技術の日立
これからは
スーパーアイランドです。 HITACHI
検診車へヨコ積みするときでも「60cmの映像系タテスライド」・「逆傾斜45°」
と機能を大きくし、さらに「映像系のヨコスライド」を装備して天板のスライドをなくしました。
"設置スペースが絶対的に狭い検診車にスペース効率良く搭載でき、しかも検診効率を良くし
画質を向上させる。"
この日立のコンセプトをさらにつくつめた
のが「スーパーアイランド」です。
胃集団検診用X線装置
TU-MA5N

大腸癌は急増している 術後は10年間経過観察を

第二十五回保健衛生部会研修(八月二日、国立がんセンター中央病院)で、国立東京第二病院の奥田誠医師は、「大腸癌治療の最前線」と題して次のように語った。「大腸癌の発生は急上昇している。術後の再発を治療可能な範囲内で発見するためと残存大腸に第二の癌が発生した時いち早く発見するため、定期的な十年間の経過観察が望ましい」と。これは、その概要である。

症状

早期癌は多くは無症状で、検診による便潜血反応陽性が発見の糸口となる。盲腸、上行結腸など右側結腸癌では腫瘍触知、慢性貧血、回盲弁に近い部位では腸閉塞などの症状が一般的である。下行結腸、S状結腸などの左半結腸では狭窄による便通異常、腸閉塞、さらに直腸に近くなれば排便時に血液の付着を自覚することが多い。癌が肛門に近ければ近ほど便秘頻回(裏急後重)が生じ、腫瘍の増大にともない便通の異常がおきる。

診断

無症状のものには問診、

便潜血反応(免疫便潜血検査法が望ましい)から疑診を抱き、注腸検査で腫瘍の存在を確認し、大腸内視鏡による生検で質的診断を行う。下部直腸癌は直腸指診、肛門鏡でも十分確認される。進行癌では腹部超音波検査で発見されることもある。進行癌が発見されたら、局所での周囲への浸潤を把握するためにCTスキャン、肝臓、肺を中心とした遠隔転移の有無の診断のため、腹部超音波検査、CTスキャン、胸部X線撮影が必要となる。

早期癌では、粘膜内癌が粘膜下層にわずかに浸潤した癌で、低分化もしくは未分化癌でなく、明らかな尿管内癌浸潤がなく、断端近傍にHedge(大きくて重い)な癌浸潤がない場合、内視鏡的摘除(内視鏡的ポリペクトミー、内視鏡的粘膜切除)、経肛門的摘除が可能となる。この場合にはリンパ節郭清はできないが、このような症例ではリンパ節転移はないとされている。それ以外の場合はリンパ節郭清を伴う腸管切除術が原則である。この場合もI群リンパ節郭清だけで済むような早期癌では、腹腔鏡補助下腸管切除術も適応となり、手術創の小さなことから術後の疼痛軽減、在院日数の減少、早期社会復帰が可能となっている。直腸癌では、直腸と共に

肛門も切除しS状結腸永久人口肛門を増設するものを直腸切断術と呼び、腹陰式直腸切断術(マイルズ手術)が一般的である。直腸S状部、上部直腸の癌、および下部直腸癌でも比較的小さく、肛門から距離のあるものでは肛門を温存する低位前方切除術の適応となり近年増加傾向にある。この際吻合にあたり手縫いの代わりに機械吻合が一般的となり、それまで本術式の問題点であった吻合不全が減少してきた。

近年膀胱、および性機能温存のため、下腹神経、骨盤神経を極力損傷しないように努める傾向にある。逆に、周囲臓器への浸潤が明らかなきはそれら臓器を合併切除する骨盤内臓全摘除がなされる。この時は人工肛門と尿路変更術として回腸導管による人工膀胱が造設される。

結腸癌では血管の解剖学的観点から3群リンパ節までの郭清が比較容易で、機能障害もほとんど残さないうえに、術式としては、右半結腸癌に対しては右半結腸切除術、比較的早期の回盲部癌に対して回盲部切除術、横行結腸中央から肛門側、下行結腸、S状結腸にかけての癌に結腸部分切除、もしくは左半結腸切除術が行われる。腸閉塞症例では右半結腸切除はI期的に行われるが、左半結腸では結腸吻合部の吻合不全を恐れ、切除郭清は通常に行い、口側端を人工肛門とするハルトマン手術が施行される。この場合、後日人工肛門閉鎖が可能である。

根治手術のなされた直腸癌の五年生存率は結腸癌より幾分悪く、六〇%から七〇%とされている。再発形式では局所再発が最も多く一四・八%、ついで肝転移一三・二%、肺転移二・三%と報告されている。なかでも局所再発は疼痛を必ず伴い治療に難渋するが放射線療法が効果を奏することがある。

術後の補助化学療法としてはフッ化ピリミジン系薬剤の半年から一年にわたる経口投与が一般的である。多臓器再発、手術不能進行癌に対して全身化学療法が各種あるがいずれも効果は薄く、現在は5-FUを中心とした持続静注療法や、多剤併用療法で効果の増強を期待する段階である。

予後
根治手術のなされた直腸癌の五年生存率は結腸癌より幾分悪く、六〇%から七〇%とされている。再発形式では局所再発が最も多く一四・八%、ついで肝転移一三・二%、肺転移二・三%と報告されている。なかでも局所再発は疼痛を必ず伴い治療に難渋するが放射線療法が効果を奏することがある。

対前年度比4.9%の伸び 平成保険医療費動向

厚生省は八月二日、平成七年度の医療保険医療費の動向を発表した。それによると、七年度の医療保険医療費は、対前年度比四・九%の伸び、一人当たり医療費も四・五%の伸びとなっている。このうち、老人医療費は六年度ほどではないが、依然として九・一%と高い伸びを示し、一人当たり医療費でも四・四%と最も高くなっている。

老人人口の増加

七年度の医療保険医療費の伸びが四・九%は六年度の六・二%より一・四%ポイント減少しているが、保険局調査課では、六年は四月と十月に診療報酬の改定等が行われたこと、六年夏は猛暑、七年一二月はインフルエンザの流行、三月は花粉症が流行したため、これらの要因を考えると、実態的には医療費はそれほど落ちていないと分析。また、七年度においても他制度に比べて老人医療費の伸びが高くなっているが、同

調査課では老人医療費の伸びが九・一%と同一人当たり医療費の伸びが四・四%との間に四・七ポイントのギャップがあることについて、老人人口の増加による影響だとしている。

老人医療費の伸び大

この老人医療費の伸びを中心とした医療保険医療費の動向と、最近の人口・就業者・賃金の動向と比較分析してみると老人を支える各制度に問題があると思われる。七年度の総人口は一億二、五五七万人で対前年比〇・

四%増、就業者数は六、四五七万人で、同じく〇・一%の増。賃金(決まって支給する給与・規模五人以上)は二八万二、六二二円で一・六%の増となっているのに対して、七〇歳以上の人口は一、一八九万で四・五%増となっている。このように、老人人口の増との間にかなりのギャップが生じ、医療保険制度に大きな影響を与えているという。

医療分業が目立つ
つぎに、医療保険医療費の伸び率を種類別にみると、診療費の中では入院は

〇・一%の伸びで一番低くなっているが、これは六月十日に創設された入院時食事療養費に係る費用が除かれているためであり、仮りに食事療養費を含んだ場合には五・五%で最も高くなっている。

このほかでは、医療分業の進展により調剤が一八・三%と著実に伸びているとともに、施設療養費は施設の整備に伴って二五・七%、六年十月の診療報酬改定で一般にも導入された訪問看護は一・二%と大幅な伸びを示した。

また、六年十月から導入された食事療養費の伸び率は三・七%とされているが、これは六月十日から半年分の平均と七年度の一二ヶ月分の平均を比較したもので、六月十日から七年三月までと、七月十月から八年三月までの半年度分の対前年同期比では四・六%となっている。

受診歯科を除いて低い
種類の受診率の伸びの年次推移を見ると、七年度は計で〇・三%と低い伸びを示しているが、これは六年度はインフルエンザ等が流行したため近年では高めとなったためである。また、種類の受診率では、歯科を除いて前年度よりも

低くなっている。

「環境基本計画 成果は不十分」 審議会が報告書

一九九四年に閣議決定された環境基本計画の初めての点検作業をしてきた中央環境審議会企画政策部会は六月二十八日、環境温暖化対策や廃棄物対策について「必ずしも効果があがっていないとはいえない」とする報告書を、近藤次郎会長を通じて政府に提出した。

七月五日の閣議で報告され、政府として新たに施策を検討する。

部会では昨年十二月から、公開のヒアリングのほか、一般から郵便、ファックスで寄せられた意見を参考にしながら、点検を進めてきた。

「全般的評価」では、来年四月に施行される容器包装リサイクル法や生物多様性国家戦略は策定されたものの「全体として効果をあげる仕組みが欠けている」と指摘している。

六月二十九日 朝日から



ただでがん保険だけではがんは防げません。
(がん)の予防に有効な12か条です。(国立がんセンター提唱)

- 毎日、変化のある食生活を。
- バランスのとれた栄養をとる。
- かびの生えたものに注意。
- 体を清潔に。
- 塩辛いものは少なめに、あまり熱いものはさましてから。
- 焦げた部分はさける。
- 食べすぎを避け、脂肪はひかえめに。
- お酒はほどほどに。
- 日光に当たりすぎない。
- たばこは吸わないように。
- 食べものから適量のビタミン繊維質のものを多くとる。
- 適度にスポーツをする。

肺転移に対しても単発であれば積極的に切除したほうが予後向上につながる。

術後の補助化学療法としてはフッ化ピリミジン系薬剤の半年から一年にわたる経口投与が一般的である。多臓器再発、手術不能進行癌に対して全身化学療法が各種あるがいずれも効果は薄く、現在は5-FUを中心とした持続静注療法や、多剤併用療法で効果の増強を期待する段階である。

予後
根治手術のなされた直腸癌の五年生存率は結腸癌より幾分悪く、六〇%から七〇%とされている。再発形式では局所再発が最も多く一四・八%、ついで肝転移一三・二%、肺転移二・三%と報告されている。なかでも局所再発は疼痛を必ず伴い治療に難渋するが放射線療法が効果を奏することがある。

2,700万人の方からご支持をいただいています。

スーパーがん保険

AFLAC

生きるために、生きる保険を。
アメリカンファミリー生命保険会社
契約者サービス部 ☎03-3342-1660
〒163-04 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル12階

大腸癌の受診間隔 逐年検診が望ましい

第三十五回日本消化器集検学会(五月二十四日、国立教育会館)ワークショップ「大腸癌の受診間隔」で、蒼龍会井上病院大腸がん検診治療研究所の楠山剛昭氏は次のように語った。「発見目標をDukes A症例とするならば、スクリーニングの便潜血は毎年受診が妥当と考える」と、これはその抄録である。

目的及び方法
われわれは一九七八年から大腸癌集団用検診を開始し、現在では老健法に先がけ免疫便潜血(RPHA)二日法をスクリーニングとした集検を行っている。便潜血陽性者に対する一次精検は従来より、S状結腸内視鏡検査(SCS)および後日注腸X線検査(BE)とし、治療・精査(6mm以上のポリプ病変、癌病変が存在した場合等)の必要な病変に対して全結腸内視鏡検査(TCS)を二次精検としている。

成績
六年間延べ六一、五〇〇人の受診者に対して一四〇例の癌が発見された。便潜血検査が陰性でその後一年以内で大腸癌が判明した症例は二二例、一〜二年で判明した症例は一二例であった。一年以上に進行癌が少なくとも八例、一〜二年で判明した。二次精検(SCS+B)で偽陰性例は三例であり、感度は九七・九%(139/142)であった。内視鏡によるフォロー一六三例の検診では、新病変が七二例、二〜三病変が七二例、三病変新に発見されたが、5mm以下の病変が一五二例(七一・六%)と多数を占めていた。

結論
現行の発見目標をDukes A症例とするならば、スクリーニングの便潜血は毎年受診が妥当と考える。ポリプ切除後のフォロー二年以上は一回は検診は必要だが、それ以後は期間を延長させることが重要と思われる。

目的
深達度SS以上の進行胆のう癌になると三方向への進展形式を示し、その予後は極めて不良である。いかにpm癌の症例を発見するかが大切である。今回当教室の胆のう癌症例を検査し、早期胆のう癌の実態を検証する。

成績
過去一〇年間に当教室で経験した胆のう癌症例は一〇一例であった。m、pm癌は一八例(一七・八%)、SS癌は二三例(二二・八%)、Se、Si癌は六〇例(五九・四%)であった。これらの進行胆のう癌に対しては積極的に肝切除+脾頭十二指腸切除を含む拡大根治術を行ってきたが、これらの

まとめ
胆のう癌は早期発見が全てであり、その診断にはエコーが最も有利であり、ポリプはフォローアップを行い10mm以上は胆のう摘出術を施行。無痛性胆石でも胆のう壁肥厚症例、胆石合併の萎縮胆のう、長期にわたる慢性胆のう炎症状のある症例は予防的切除も必要と思われる。



粘液派。
We need Mucus.

hvc Eisai エーザイ株式会社
〒112-85 東京都文京区小石川4-6-10
E-I-9709 資料請求先: 医薬事業部セルベックス係

食道癌は定期的検診を 高危険群を中心に

第三十五回日本消化器集検学会(五月二十四日、国立教育会館)ワークショップ「食道癌の集検」で、慶応がんセンター幕内博康氏は「食道集検における効率を考える——救命効率と経済効率はどうか」について次のように語った。「食道癌早期発見のためには、食道胃同時集検とし、ハイリスク・グループに内視鏡集検を定期的に行う必要がある」と、これはその概要である。

経費がかかる
食道癌は年間約五千例と発生頻度が低く、そのうえ、治療が難しく予後も極めて不良であったため、食道集検は成立し難いと考えられていた。

対象を絞る
慶応がんセンターでは、一九六七年の開院以来、施設会員に対し食道胃同時集検による逐年検診を施行して食道癌の発見に努めていて、一九九四年までに三〇

患者に対する説明と同意 —医療機能の評価を目指して—

医療は、医師と患者との信頼関係を前提に成立つ。即ちインフォームド・コンセント(説明と同意)である。また、病院は地域の特性や必要性に添っているか等を医療機関が客観的に把握しているかが重要である。——と厚生白書(八年版)は述べている。

インフォームド・コンセントの普及促進
医療は、医師等の医療の担い手と患者との信頼関係に基づき提供されるべきものであり、この信頼関係を支える一つの方法として、いわゆるインフォームド・コンセントの考え方は重要である。厚生省では、一九九三(平成五)年七月から「インフォームド・コンセントの在り方に関する検討会」を開催し、一九九五(平成七)年六月に報告書を取りまとめた。

病院機能評価の推進
医療ニーズが多様化・高度化する中で、質の良い医療を効率的に提供していくためには、組織体としての医療機関の機能の一層の充実、向上が図られる必要がある。

胃炎・胃潰瘍にセルベックス

胃炎:急性胃炎,慢性胃炎の急性増悪期
有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。
小児への投与
小児に対する安全性は確立していない(使用経験がない)。
*1995年7月改訂

【使用上の注意】
(1)副作用*
(まれに:0.1%未満、ときに:0.1~5%未満、副詞なし:5%以上又は頻度不明)
1) 消化器/まれに便秘、腹部膨満感、下痢、口渇、嘔気、腹痛等があらわれることがある。
2) 肝臓/ときにGOT、GPTが軽度上昇することがある。
3) 精神神経系/まれに頭痛等があらわれることがある。
4) 過敏症/まれに発疹、掻痒感等があらわれることがあるので、このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。
5) その他/まれに総コレステロールの上昇、眼瞼の発赤・熱感があらわれることがある。

(2)高齢者への投与
一般に高齢者では生理機能が低下しているため減量するなど注意すること。

(3)妊婦への投与
妊娠中の投与に関する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の

胃炎・胃潰瘍治療剤 (薬価基準収載)

セルベックス 50mg/10%
(テブレンオン製剤)

●ご使用に際しては、添付文書をご参照ください。

出生率最低の9.5に低下 —平成七年人口動態統計—

厚生省統計情報部は、七月四日、平成七年人口動態統計月報年計(概数)の概況をまとめた。それによると、出生数・率合計特殊出生率(一・四三)いずれも過去最低②死亡数は阪神大震災とインフルエンザの流行によって増加③死因別死因順位は悪性新生物、脳血管疾患、心疾患の順④自然増加数は戦後初めて二〇万人台に低下したことなどが明らかになった。

出生数

平成七年の出生数は一八万七〇六七人で前年の一二三万八三二八人より五万二二六一人減った。

合計特殊出生率

平成七年の合計特殊出生率は一・四三で前年の一・五〇より低下した。

死亡数・死亡率

平成七年の死亡数は九二万二〇六二人で前年の八七万五九三三人より四万六二九二人増加した。

死因順位

平成七年の死因別死亡数を死因順位別にみると、第一位は悪性新生物で二六万二九五二人、死亡率(人口一〇万対)二・一五、第二位は脳血管疾患一四万六五四二人、一・七・八、第三位は心疾患一三万九〇五人、一・一・八となつて

離婚

平成七年の離婚件数は一八万九〇三二組で、前年の一八万九〇三二組より三九二六組増えた。

結婚

平成七年の結婚件数は一八万九〇三二組で、前年の一八万九〇三二組より三九二六組増えた。

厚生省は、一九九六年(平成八年)度の保健婦、助産婦、看護婦各国家試験を明年二月実施すると決めた。

厚生省は、一九九六年(平成八年)度の保健婦、助産婦、看護婦各国家試験を明年二月実施すると決めた。

平成八年度 保・助・看試験 発表3月31日

平成八年度(一九九六年)の保・助・看試験の発表は三月三十一日。

大腸がん男の発見率0.16% —五年生存率は良好—

胃、大腸同日検診で、大腸検診希望者に前もって検便容器を渡し、胃X線撮影次に検体を回収し、直ちに保冷庫に保存し、速やかにスクリーニングとして昭和六十二年から平成三年までは免疫潜血検査(DC-Hem)一日法と問診項目(六ヶ月以内の排便時出血および両親のいずれかが大腸がん)でありました。平成四年から老健法の実施基準によって実施している。

第五十一回地方会(二月十七日、長野市)一般演題で「長野県における大腸集団検診(成人病予防協会による)の成績と展望」と題して長野県医師会消化器検診検討委員会の興仁一郎氏は次のように語った。「男の発見率は〇・一六%、五年生存率は六七・六五%と良好である」と。これはその抄録である。

九三九人、六年間では二四、九五五人となる。要精検率は六三年度二・四四%であったが、平成四年度から六・六三%、六・四〇%となる。

精検受診率は当初七七・八四%であったが六年間の平均では六七・三九%である。発見大腸がんは三五三人で、その発見率は〇・一六%である。男は二〇〇人(発見率〇・一六%)、女は一五三人(同〇・〇九%)で、男は約二倍の発見率である。

五年生存率は良好
組織学的検査を終了した確定大腸がんでは〇型は一〇八病変で全三三四病変の四六・一五%で、早期大腸がんの割合を示す。形態別では2型(七八%)、

近年は高齢化を反映して七五歳以上の死亡数の増加が目立つ。
死亡数(人口千対)は七・四で前年の七・一を上回った。
死亡率(人口一〇万対)は年齢(五歳階級)別にみると、七五〜八九歳の各階級で前年より大幅に低下しているものの、その他の階級では前年より上昇している。

平成七年の死因別死亡数を死因順位別にみると、第一位は悪性新生物で二六万二九五二人、死亡率(人口一〇万対)二・一五、第二位は脳血管疾患一四万六五四二人、一・七・八、第三位は心疾患一三万九〇五人、一・一・八となつて

平成七年の結婚件数は一八万九〇三二組で、前年の一八万九〇三二組より三九二六組増えた。
離婚件数は昭和四〇年代後半には一〇〇万組を超え、婚姻率(人口千対)も一〇・〇以上で婚姻ブームを呈した。その後は件数・率とも減少していったが、六三年以降件数・率とも上昇傾向にある。婚姻率(人口千対)は六・三を上回った。

平成七年の離婚件数は一八万九〇三二組で、前年の一八万九〇三二組より三九二六組増えた。
結婚件数は昭和四〇年代後半には一〇〇万組を超え、婚姻率(人口千対)も一〇・〇以上で婚姻ブームを呈した。その後は件数・率とも減少していったが、六三年以降件数・率とも上昇傾向にある。婚姻率(人口千対)は六・三を上回った。

撮影結果に 有意の差 個々の技術の向上

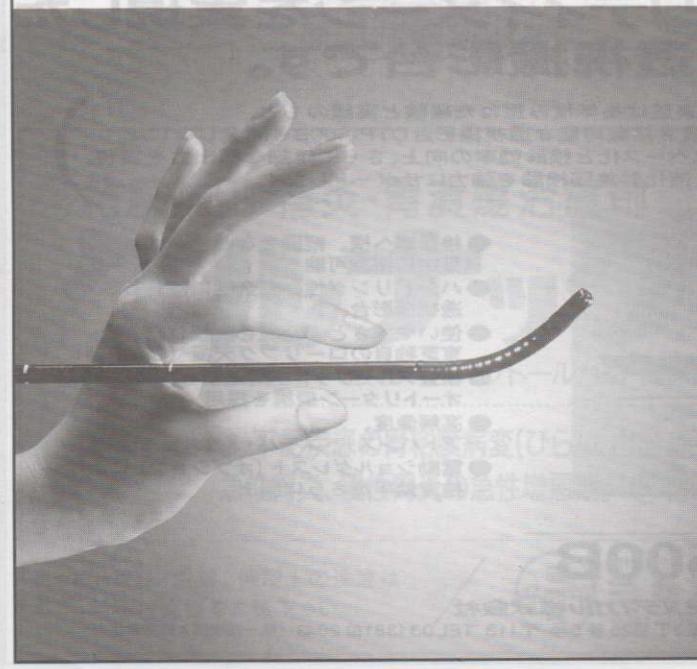
第九回集検従事者研究会(五月二十五日、国立教育会館)シンポジウム「消化管撮影技術の修練—消化管撮影技術と胃集検成績について—」で、宮城県対がん協会が検診センターの大友義孝氏は次のように語った。「撮影技術の差は集検成績に影響がある。癌発見率を高め、効率的な集検を行うためには、個々の撮影技術をより一層向上させる必要がある」と。これはその抄録である。

目的
宮城県対がん協会がん検診センターにおいて平成四年度から平成六年度までの胃集検受診数は六四〇、八八四人、精検当数六二、九九〇人(九・八三%)うち精検受診数六〇、八三九人、発見癌一、一六六人(〇・一七%)であった。

結果
①精検当率はAグループ九・九七%、Bグループ九・八四%、Cグループ九・七二%②精検受診者中の発見疾患率はAグループ五九・三七%、Bグループ五八・八六%、Cグループ五六・一八%③精検受診者中の癌発見率は、Aグループ二・〇一%、Bグループ一・七七%、Cグループ一・六四%であった。④①②③のいずれの場合にもAグループとCグループの間に有意差がみられた。

結論
撮影技術の差は集検成績に影響があり、特に精検受診者中の癌発見率に差があった。精度が高く効率的な集検を行うには、個々の撮影技術をより一層向上させる必要があると思われる。

こんなに楽なら、来年も内視鏡検査にしよう。



外径6mmのGIF-N230なら、被検者の方のこんな感想がきかれるようになるかもしれません。消化管用ビデオスコープでは世界最細径。被検者の負担が少ないため、スクリーニングに使用することも十分に可能です。確実な診断で定評のある内視鏡検査をもっと多くの方に受けていただきたい—こうしたご要望に応じて生まれたビデオスコープです。

- 6mmの挿入部外径で極めてスムーズな挿入。
- 鼻からの挿入も可能。
- 2mmのチャンネル径で生検や処置が可能。
- オリエンテーションのつけやすい120°の視野角と4方向アングル。

EVIS 上部消化管汎用ビデオスコープ
OLYMPUS GIF TYPE N230 新発売



先端外径比較：上 GIF-N230、下 GIF-XQ230

都 県
だより

栃 木 県

平成六年度の実施状況

「平成六年度栃木県老人保健・医療年報」によると、県内の老人保健法に基づく胃がん検診の実施状況は、対象者数四五〇、六六七人に対して受診者は八一、九一四人で受診率は一八・二％であり、前年度の受診率一六・八％に比較して一・四％の増加に留まった。



湯川 悟

で受診率は一四・二％であり、前年度の一一・七％に比較し二・五％の増加がみられた。これらの二つの胃がん検診の特徴および留意点として次のことがあげられる。

最近の事業実施状況

一つは、検診の受診率は市部と町村部で異なり、対象者の多くを占める市部が町村部に比較して低迷していること。その理由として、対象者の的確な把握が行われていないことがあげられる。一方、その向上対策としては、総合がん検診の導入等市町村と検診機関が連携して取り組みをして

二つは、精密検査受診率が低いこと（七〇％未満の市町村が胃がん一四市町村、大腸がん二五市町村あり）。理由としては、他県と比較して精密検査受診状況の把握方法の不備や、精密検査を促進させるための保健婦の事後指導に差異があることなどがあげられる。

また、放射線課の技師と読影医師の協同研究の結果、今年度から造影剤をゾル製剤から粉末製剤に変更したことにより、濃度は一・二〇（W/V％）から一・八〇（W/V％）に増加させ、使用量二〇〇mlから一五〇mlに減量した。その結果(1)高濃度、低粘性のため胃粘膜へのバリウム付着が良く、画質の向上がみられ、読影医から好評である。(2)サラサラした感じで従来のゾル製剤より飲み易い。味が良く、げっぷが少なくなったという点で受診者から好評である。(3)使用量および濃度が調整しやすいためと評価されている。

当衛生事業団ではDEX A法による骨密度検診を、平成八年度より開始したが、八月末現在稼働日数は一八回、五市町村で男一一人、女一五六人、計一五七八人が受診している。検査方法は、踵骨DXA法であり、一時間に四〇人程度の検診効率である。検査結果については、「異常なし」は男一〇人、女九八一人（六二・六％）、「要指導」は男〇人、女四二二人（二六・九％）、「要精検」は男一人、女一六四人（一〇・五％）であり、「要指導」五〇歳以上の女性が大部分を占めている。また、この方法は、楽な姿勢で測定でき、輻射部、生殖器への被爆がないことや骨量の減少には、皮質骨より鋭敏な海綿骨を九五％も含んで測定することから、踵骨は特にスクリーニングに適した測定部位といえる。

この移転は、栃木県がこれからの県民の健康づくりに向けて実施する健康増進事業を担うものであり、脳卒中の全国ワースト1返上に向け、これまでの集団検診事業全般の推進に併せて疫病の予防や健康増進に重点を置くものである。さら

平成九年度厚生省予算概算要求の概要がこのほど決まった。概算要求額は一五兆二、〇二四億円で平成八年度予算額一四兆三、四〇九億円に比べ、差引八、六一五億円の伸びで、対前年度伸率は六％である。平成八年度概算要求額は一四兆八、九一九億円で、平成七年度予算額に比べ、対前年度伸び率は六・六％であった。

平成八年度予算額は一四兆三、四〇九億円で、平成七年度予算額との差引増は三、六六三億円で、対前年度伸び率は二・六％であった。

第三十五回日本消化器集検学会（五月二十四日、国立教育会館）ワークショップ「食道癌の集検」で、国立がんセンター中央病院内科福田治彦氏は「食道癌の選択案件はプリンクマン・インディックス四〇〇または内視鏡的異常所見ありが妥当と思われる」と述べた。これはその抄録である。

目的 食道表在癌やディスプレイのスクリーニング法として内視鏡的ヨード散布法は有用であるが、施行後の副作用も無視できないことから、我々は適切な高危険群の設定による選択的ヨード散布法の確立を指向している。今回、喫煙・飲酒歴やヨード散布前の内視鏡所見等の事前情報による、高危険群の絞り込みが可能かどうかを知る目的でプロスペクティブ・スタディを行った。

対象・方法 当院で上部消化管内視鏡検査を受ける五〇歳以上の男性全例を対象とし（高度の食道炎や高度進行癌合併および通常観察にて食道癌と判断し得る症例を除く）、内視鏡的ヨード散布を行い、5mm以上のヨード不染に對して生検を施行、組織学的な癌・ディスプレイの有無と、年齢・他臓器癌合併・胃切除既往・喫煙歴・飲酒歴・ヨード散布前の内視鏡所見（びまん性所見）との関連をプロスペクティブに検討した。

結果 5mm以上のヨード不染は一八三例（二九・三％）に見られ、そのうち一五〇例（一五・八％）、一八九例変

せ、使用量二〇〇mlから一五〇mlに減量した。その結果(1)高濃度、低粘性のため胃粘膜へのバリウム付着が良く、画質の向上がみられ、読影医から好評である。(2)サラサラした感じで従来のゾル製剤より飲み易い。味が良く、げっぷが少なくなったという点で受診者から好評である。(3)使用量および濃度が調整しやすいためと評価されている。

当衛生事業団（理事長、森沢康）では、平成九年一月に、宇都宮市内に建設中の「とちぎ健康と生きがいの森」に施設を移転して事業を実施して行く予定である。

移転と今後の展望 当衛生事業団（理事長、森沢康）では、平成九年一月に、宇都宮市内に建設中の「とちぎ健康と生きがいの森」に施設を移転して事業を実施して行く予定である。

この移転は、栃木県がこれからの県民の健康づくりに向けて実施する健康増進事業を担うものであり、脳卒中の全国ワースト1返上に向け、これまでの集団検診事業全般の推進に併せて疫病の予防や健康増進に重点を置くものである。さら

平成九年度厚生省予算概算要求の概要がこのほど決まった。概算要求額は一五兆二、〇二四億円で平成八年度予算額一四兆三、四〇九億円に比べ、差引八、六一五億円の伸びで、対前年度伸率は六％である。平成八年度概算要求額は一四兆八、九一九億円で、平成七年度予算額に比べ、対前年度伸び率は六・六％であった。

喫煙歴と内視鏡的異常所見
—食道癌のスクリーニング—

第三十五回日本消化器集検学会（五月二十四日、国立教育会館）ワークショップ「食道癌の集検」で、国立がんセンター中央病院内科福田治彦氏は「食道癌の選択案件はプリンクマン・インディックス四〇〇または内視鏡的異常所見ありが妥当と思われる」と述べた。これはその抄録である。

目的 食道表在癌やディスプレイのスクリーニング法として内視鏡的ヨード散布法は有用であるが、施行後の副作用も無視できないことから、我々は適切な高危険群の設定による選択的ヨード散布法の確立を指向している。今回、喫煙・飲酒歴やヨード散布前の内視鏡所見等の事前情報による、高危険群の絞り込みが可能かどうかを知る目的でプロスペクティブ・スタディを行った。

対象・方法 当院で上部消化管内視鏡検査を受ける五〇歳以上の男性全例を対象とし（高度の食道炎や高度進行癌合併および通常観察にて食道癌と判断し得る症例を除く）、内視鏡的ヨード散布を行い、5mm以上のヨード不染に對して生検を施行、組織学的な癌・ディスプレイの有無と、年齢・他臓器癌合併・胃切除既往・喫煙歴・飲酒歴・ヨード散布前の内視鏡所見（びまん性所見）との関連をプロスペクティブに検討した。

結果 5mm以上のヨード不染は一八三例（二九・三％）に見られ、そのうち一五〇例（一五・八％）、一八九例変

せ、使用量二〇〇mlから一五〇mlに減量した。その結果(1)高濃度、低粘性のため胃粘膜へのバリウム付着が良く、画質の向上がみられ、読影医から好評である。(2)サラサラした感じで従来のゾル製剤より飲み易い。味が良く、げっぷが少なくなったという点で受診者から好評である。(3)使用量および濃度が調整しやすいためと評価されている。

当衛生事業団（理事長、森沢康）では、平成九年一月に、宇都宮市内に建設中の「とちぎ健康と生きがいの森」に施設を移転して事業を実施して行く予定である。

移転と今後の展望 当衛生事業団（理事長、森沢康）では、平成九年一月に、宇都宮市内に建設中の「とちぎ健康と生きがいの森」に施設を移転して事業を実施して行く予定である。

この移転は、栃木県がこれからの県民の健康づくりに向けて実施する健康増進事業を担うものであり、脳卒中の全国ワースト1返上に向け、これまでの集団検診事業全般の推進に併せて疫病の予防や健康増進に重点を置くものである。さら

平成九年度厚生省予算概算要求の概要がこのほど決まった。概算要求額は一五兆二、〇二四億円で平成八年度予算額一四兆三、四〇九億円に比べ、差引八、六一五億円の伸びで、対前年度伸率は六％である。平成八年度概算要求額は一四兆八、九一九億円で、平成七年度予算額に比べ、対前年度伸び率は六・六％であった。

7人に1人が65歳以上
高齢化進み、未婚者増

総人口の七人に一人が六十五歳以上のお年寄りで占められていることが六月二十八日、総務庁統計局が公表した国勢調査（一九九五年十月実施）の抽出速報で分った。六十五歳以上は、千八百六十万人で、九〇年の前回調査から約二五％増え、過去最高の増加率を記録した。また、二十歳代後半の女性のほぼ半分が結婚していないなど、男女とも未婚者が急増していることも明らかになった。

お年寄り四・八％ 今回の調査によると、全人口に占めるお年寄りの割合は一四・八％。フランスと同水準だが、他の主要国では見られないような急激な増加傾向が一層はつきりした。

未婚者ふえる 未婚者の割合は、男性は二十歳代後半と四十歳代の世代で、女性は二十歳代前半と三十歳代前半の世代で増加が目立った。特に、三十一歳以上の男性で未婚者が三七・三％（前回より四・七％増）、二十五歳と二十九歳の女性で四九・〇％（同八・八％増）。

全世帯の二％から抽出 抽出速報は全世帯から抽出した一％の調査票をもとに、年齢別の人口構成や産業・職業構成など十七項目について推計した。

八月二十九日朝日から

TOSHIBA 省スペース化とハイクオリティイメージを実現した透視撮影台です。東芝は長年積み重ねた経験と実績のもと、検診車へ横置き搭載可能な透視撮影台DTP-500Bを開発しました。設置面積の省スペース化と検診効率の向上、さらに精細な描出力を実現。消化器集団検診を強力にサポートします。

- 検診車へ横、縦置きなど自由に搭載可能
- ハンドリング性、安全性に優れた透視撮影台
- 使いやすさと安全性を重視した東芝独自のローリング天板（CFRP製）
- 検査スルーブットが向上する、オートリターン機構を採用
- 高解像度、アドバンスド・スーパー・メタルLiI組合せ
- 電動ショルダーレスト（オプション）により検査効率がさらに向上

透視撮影台 DTP-500B 株式会社 東芝・東芝メディカル株式会社 本社/東京都文京区本郷3丁目26番5号 〒113 TEL 03 (3818) 2043 (第一営業部×総営業担当)

FUJIFILM I&I-Imaging & Informa 間接撮影画像の質的変革 消化管専用 MI-FG新登場。「間接撮影画像の質的変革」のコンセプトのもとに開発された「MI-FA」その技術を採用した、消化管集団検診用フィルム「MI-FG」新登場。最適な階調設計による診断しやすい画像で集団検診に貢献します。

富士メディカルイメージングフィルム MI-FG (間接撮影用)

画質を重視した、標準感度の消化管集団検診用フィルムです。11スポットカメラ用としてご利用いただけます。

- 超高画質 新LiI粒子乳剤技術を用いた微粒子、高鮮鋭度、標準感度のフィルムです。粒状性の向上で微細な病変まで描出できます。
- 安定した処理性 新LiI粒子乳剤の採用で、強固な潜像が形成され、90秒処理までの安定した処理が可能です。
- 最適な階調設計 消化管集団検診用に、二重造影から充盈像まで広い濃度領域をバランス良く描出する最適な階調設計で診断しやすい画像が得られます。

品種(サイズ) ロータイプ:100mm×30.5mm 100mm×45.7mm

資料請求は富士メディカルシステム株式会社まで

富士写真フイルム株式会社 総発売元 富士メディカルシステム株式会社 東京都中央区銀座7-13-8 第2丸高ビル 101 電話 (03) 3545-3311

放射線技師部会

大腸癌高齢者ほど高い 注意深い経過観察が必要

一九八八年から一九九四年までにTCSで発見した大腸癌一、四五三例で発見した例のうち七〇歳以上の三〇〇例を対象とし、七〇歳未満の一、一五三例を比較検討した。

対象・方法

当院ではトータル・コロノスコピー(TCS)による大腸精検を積極的に行ってきており、その有用性については本学会でも報告してきた。今回は、今後迎えるであろう高齢者社会に備え、TCSで発見した高齢者の大腸癌について臨床的に検討を加えることにより、高齢者に対する大腸精検のあり方についての言及を試みたので報告する。

目的

第三十五回日本消化器集検学会(五月二十三日、国立教育会館)シンポジウム「高齢者社会における消化器集検」で、松島病院大腸肛門病院長の鈴木康元氏は次のように述べた。「七〇歳以上の高齢者では大腸癌の発見頻度、進行癌の占有率が有意に高い。従って注意深い経過観察が重要である。これはその概要である。」

結果

- 比較検討した。
1. 高齢者大腸癌占有率は二〇・六％で、発見年別(最高一九八八年二六・八％、最低一九八九年一九・三％)では有意差はなかった。
 2. 年齢分布は七〇歳代二五・一％、八〇歳代四七・九％、九〇歳代二例であった。
 3. 男女比は一・八六(男性一九五例、女性一〇五例)で、七〇歳未満の二・一三と比較し有意差はなかった。
 4. TCSによる大腸癌の発見頻度は四・〇％(七〇歳代三・八％、八〇歳代五・〇％、九

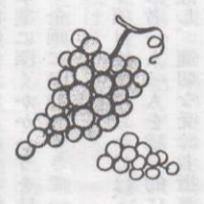
放射線技師部会総会 —10月5日、前橋市で—

第二十九回の放射線技師部会総会は、十月五日(土)群馬健康づくり財団、加藤潔氏が会長となり、前橋市民文化会館で開かれる。プログラムが次のように決った。

(午前の部)
開会宣言、九・〇〇
実効委員長 柴山哲夫
一般演題 I 九・〇五
座長 小島精一(東松山市立市民病院)
本院における胃集検(車検)の現状と検討
伊勢崎佐波医師会病院
本山 徹
胃がん検診の環境向上にむけて 多摩がん検診センター放射線科 大内一也
食道がん早期がん発見への集団検診における取り組み 多摩がん検診センター放射線科 菊池好子
佐渡島内胃集検における十年間の成績 新潟県労働衛生医学協会佐渡検診センター 船登正明
一般演題 II 九・四五
座長 池島豊(癌研究)

(午後の部)
総会 一三・一〇
挨拶 第29回放射線技師部会長 加藤潔
来賓挨拶
日本消化器集検学会 関東甲信越地方会代表世話人 市川平三郎
群馬県衛生環境部長 伊藤隆
群馬県医師会長 家崎智

報告
技師部会世話人代表 研修委員会委員長 斎藤裕久
市川賞・技術賞選考委員長 海老根精一
特別公演 一三・四〇
大腸がん検診について 丸山雅一(癌研病院) 司会 斎藤裕久(国立第二病院)
一般演題 III 一四・三〇
座長 千安式部(鶴ヶ峰病院)
X線フィルムと逆追跡が可能であった胃癌について 早期胃がん検診協会 安達純子
腸管のう腫様気腫の一例 神奈川県労働衛生福祉協会 本田今朝男
胃集検におけるCRT診断の有用性 鶴ヶ峰病院



朝崎学
がん検診の将来展望について 国立がんセンター 院長 市川平三郎
司会 加藤潔(第29回技師部会会長)
時期開催挨拶 二六・五〇
小沢馨会長(栃木県立がんセンター)
閉会の辞 一七・〇〇
実効委員長 柴山哲夫

朝崎学
がん検診の将来展望について 国立がんセンター 院長 市川平三郎
司会 加藤潔(第29回技師部会会長)
時期開催挨拶 二六・五〇
小沢馨会長(栃木県立がんセンター)
閉会の辞 一七・〇〇
実効委員長 柴山哲夫

平成7年の平均余命 男76・36年、女82・84年

厚生省統計情報部はこのほど、平成七年簡易生命表(平均余命)を発表した。平成七年の日本人の平均寿命は男の七六・三六、女の八二・八四で、前年を男〇・二一年、女〇・一四年下回った。この低下の要因についてインフルエンザの流行と阪神・淡路大震災の影響を上げている。

平均余命
平成七年簡易生命表によると、男の平均余命は七六・三六、女は八二・八四で、前年を比べ男は〇・二一年、女は〇・一四年下回っている。
平均寿命が低下したのは、男が三年ぶり、女が七年ぶりである。

平均余命の国際比較
平均寿命の諸外国との比較は、国により作成基礎期間が異なるので厳密な比較は困難である。しかし、現在入手している資料によると次の通りである。
日本男七六・三六、女八二・八四(一九九五年)
香港男七五・八四、女八一・一六(一九九四年)
スウェーデン男七六・〇八、女八一・三八(一九九四年)
ノルウェー男七四・八八、女八〇・六四(一九九四年)
フランス男七二・九一、女八一・二二(一九九二年)
アメリカ男七二・三三、女七九・一一(一九九二年)
オーストラリア男七四・四七、女八〇・四一(一九九二年)

死因別死亡率
平成七年の死因別死亡率をみると、〇歳の男では悪性新生物で将来死亡する確率が最も高く、脳血管疾患、心疾患、肺炎の順になっている。
女では脳血管疾患、悪性新生物、心疾患、肺炎の順となっている。
〇歳に比べ六五歳では男女とも悪性新生物の死亡確率が低く、他の死亡確率が高くなっている。
また、三大死因の死亡確率は、男女ともに全体の半分以上を占めている。

Konica

滑らかで奥ゆきのある
ディテール描写力、
識別性の高い視やすい
診断画像を提供します。

- 微細な情報も逃さない高い鮮鋭性
- ノイズの少ない優れた粒状性
- 識別性の高い特性曲線形状
- 90秒処理による快適な作業性
- 新設計乳剤の採用による常に安定した処理性能

コニカ株式会社
163-05 東京都新宿区西新宿1-26-2 TEL:03(3349)5175

「高画質化への挑戦」
新聞接ロールフィルム3タイプ誕生。

ミラーカメラ専用 HX/ME/ME-P
11間接ハイスポート撮影用

コニカ間接撮影用フィルム HX/ME/ME-P
承認番号0380139

さわやかな朝
…快適な一日を…

各種便秘症の治療に—
緩下剤
ラキソベロン錠・液 Laxoberon
(ピコスルファートナトリウム製剤) 確保適用

●ご使用に際しましては、
製品添付文書をご参照ください。

製造・販売 **テイジン** 提携 **ペリンガイ** 代理店 **インテリナショナル社**
TEL:03-3411-1111 FAX:03-3411-1111
医薬事業本部 〒110 東京都千代田区千代田2-1-1
資料請求先: 帝人薬業事業本部 2 学術部
LAZ319512 作成年月 1995年12月

多項目同時検診の試み 横浜市民病院の吉田さん

第二十五回保健衛生部会研修会（八月一、二日）「受診率向上のための取り組み」で、横浜市立市民病院がん検診センターの吉田富子さんは次のように語った。「受診者のニーズに合わせるため、集団の単独検診から個別の多項目検診へと変化している。しかも、受診者の伸び率が高くなってきた」と語っている。これは、その要旨である。

被験者の二一七
横浜市立市民病院がん検診センターの設立目的は、一次検診から精密検診、治療、事後管理に至るまでの一貫した検診を各項目ごとに専門医が担当することにより、精度の高いがん検診を市民に提供することにある。

多項目検診指向

胃がん検診も平成元年から平成五年をピークとして、その後は減少傾向にあり、胃がんの単独検診のみでは、受診者の確保は困難になってきた。

開設当初は、胃、肺、喉頭、子宮、乳腺の五項目でしたが昭和六十二年の第二次老人保健法の改定に伴い大腸がん検診を導入、さらに平成二年には、肝胆膵がん検診を追加することにより消化器がん検診の充実を図った。

平成五年九月には受診者のニーズが高かったこともあり、卵巣がん検診を試行

的に開始した。さらに、平成七年には前立腺がん検診を加え、検診項目の拡大を図った。

保健婦のかわり

受診者の多項目への指向がみられるようになりセンターへの施設検診の特性が生かされつつあることがわかってきた。

セット検診は、現在センターで実施している検診をセット化し同日に受診できるように受診者に対する便宜を図り、また同時に六五歳以上の初回者を積極的に勧奨すること、がん発見率の向上を目指した。

保健婦部会は盛会 全国から116人参加

第二十五回保健衛生部会（前保健婦部会）の研修会は、八月一、二の両日、国立がんセンターがん研究振興財団国際交流会館国際会議場で開かれた。

今回は一六六人が参加、「受診率向上のための取り組み」「がん検診の今後のあり方」「消化器集団検診の現状と動向」「大腸がん治療の最前線」のテーマで二日間にわたり、熱心に研修した。

厚生省は六月十七日、本年五月二十六日に東京都ほか七地区において実施した第十回管理栄養士国家試験の合格者を発表した。

平成八年版の「厚生白書」が出版された。七年版は「質」「情報」「選択」「納得」と現代の医療の実態を表わしたものであったが、八年版は「家族と社会保障——家族の社会的支援のために——という副題がついている。

増加率最低の0.21%
平成8年3月の人口

投稿される方へ
本紙はできるだけ多くの読者のご意見を掲載したいと考えています。投稿は主張・提言・体験談、胃集検情報などのほか、詩、短歌、俳句、写真なども歓迎します。

編集後記
トップは、新潟県がんセンターの佐々木壽英博士の「胃がん検診の効果は顕著」を取り上げました。これは第三十五回日本消化器学会で有賀記念賞の対象になった力作です。

のあり方——集団から個人へ——を扱いました。「がん対策といわれると、とく、検診が協調され、評価の点が欠けていた。評価なきところに検診なし、といった立場から説いている。数回にわたって載せる。

アメリカのクリントン大統領が徹底した未成年者のための禁煙対策を訴えている。がん死の一位である肺がん対策上も有効だ。成果を期待したい。（永嶋）

保健婦部会

管理栄養士試験合格
5,334人、40.4%



厚生省は六月十七日、本年五月二十六日に東京都ほか七地区において実施した第十回管理栄養士国家試験の合格者を発表した。

平成八年版の「厚生白書」が出版された。七年版は「質」「情報」「選択」「納得」と現代の医療の実態を表わしたものであったが、八年版は「家族と社会保障——家族の社会的支援のために——という副題がついている。

増加率最低の0.21%
平成8年3月の人口

投稿される方へ
本紙はできるだけ多くの読者のご意見を掲載したいと考えています。投稿は主張・提言・体験談、胃集検情報などのほか、詩、短歌、俳句、写真なども歓迎します。

編集後記
トップは、新潟県がんセンターの佐々木壽英博士の「胃がん検診の効果は顕著」を取り上げました。これは第三十五回日本消化器学会で有賀記念賞の対象になった力作です。

のあり方——集団から個人へ——を扱いました。「がん対策といわれると、とく、検診が協調され、評価の点が欠けていた。評価なきところに検診なし、といった立場から説いている。数回にわたって載せる。

アメリカのクリントン大統領が徹底した未成年者のための禁煙対策を訴えている。がん死の一位である肺がん対策上も有効だ。成果を期待したい。（永嶋）

国民所得は 世界1位

わが国の国民所得は、急速な円高もあって、先進七カ国の中で第一位である。ところが、生活意識の中で「ゆとりがある」と実感しているものは依然として少数派である。そのことは、他国に比べて、物価が依然として高いことなどが原因の一つであるといえよう。

生活水準も上昇
所得水準の上昇により、生活水準も向上した。家計がどれだけ食費に追いついていくかを示すエンゲル係数（消費支出占める食料費の割合）の推移をみると、一九五三（昭和二八）年の四八・五％から一九九〇（平成二）年には二三・七％にまで低下してきている。なお、食料費の内訳をみると、外食の占める割合が増加している。

機、白黒テレビが三種の神器といわれたが、昭和四〇年代にはカラーテレビ、カー、クレーターの3Cが新三種の神器として普及した。勤労者世帯の月当たりの定期収入とこれらの平均購入価格を比べてみると、耐久財の高級化が進む一方で、家計収入の向上と技術革新等が進んだことにより、耐久財の相対価格は低下し、例えば、一九六三（昭和三八）年には月給の七・一倍だった自動車は、一九九五（平成七）年には月給の三・七倍にまで低下している。（厚生白書八年版から）

X線BaSO₄造影剤
BARITOP
ゾル：150%・120%・110%・100%
粉末：バリトP
Balgín
ゾル：S2号・バムスター-S130・Sゾル3号
注腸専用ゾル：ネオダルムゾル
粉末：ネオバルギン共成
補助剤：バルギン発泡顆粒・消泡液
株式会社カイゲン
大阪市中央区道修町2丁目5-14
大阪・東京・横浜・大宮・名古屋・福岡・仙台・札幌・広島・金沢・高松

Barytgen
バリトゲン ゾル 100W/V%包装 (200ml・250ml・600ml・5ℓ)
バリトゲン ゾル 120W/V%包装 (200ml・250ml・300ml)
バリトゲン ゾル 145W/V%包装 (200ml・250ml)
バリトゲン 発泡顆粒 個人包装 (40包入・50包入) 2.5g・3.5g・4.5g・5g
バリトゲンデラックス 200g×75袋・600g×25袋
伏見製薬株式会社東京営業所
〒181 東京都三鷹市北野2-6-47 TEL 0422-49-2430

胃炎・胃潰瘍治療剤
ムコスタ錠100
Mucosta® tablets レバミピド製剤
【効能・効果】
●胃潰瘍
●下記疾患の胃粘膜病変（びらん、出血、発赤、浮腫）の改善
急性性胃炎、慢性性胃炎の急性増悪期
※用法・用量、使用上の注意等は、製品添付文書をご参照ください。
製造発売元 大塚製薬株式会社
資料請求先 大塚製薬株式会社 学術部
東京都千代田区神田司町2-2
大塚製薬 神田第2ビル
(94.6作成)

- ◎編集委員
- 東京都江戸川区医師会 神保 勝一
 - 千葉県がんセンター 林 学
 - 茨城県総合健康協会 追田 昌文
 - 千葉県対がん協会 高田 貞市
 - 調布市役所 小林ユキ子
 - 高沢内科医院 原 敬治
 - 荒川区がん予防センター 荒川 章子
 - 神奈川県予防医学協会 竹村 信吾
 - 多摩がん検診センター 多摩 清孝
 - JR東京総合病院 大槻 清孝
 - 渡辺 靖